

取扱説明書

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で正しく組み立て、正しくお使いください。また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

製品仕様

品名	フローリングで作る箱
製品寸法	幅000mm×奥行000mm×高さ000mm(座面高000mm)
製品質量	製品質量
用途	箱
材質	構造部材：側板 杉材 底板 合板
原産国	日本

組み立てについて

- 床が部品などでキズつかない様に、敷物などで保護してください。
- 組立説明書をよく御読みいただき、十分なスペースを確保して組み立ててください。
- ボルトやナット類の締め付けは確実にこなってください。
- ビニール袋、梱包材などはお客様の手の届かないように廃棄してください。

お手入れ方法

- 保守・点検
- 害虫を発見した場合は、殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。
- 各部にゆるみやぐらつき、ひび割れなどないか定期的に点検し、異常が見られたら使用を中止してください。商品の破損やケガの原因となります。
- 木部のお手入れ
- 塗装面のホコリはやわらかい布、またはハタキで軽く払ってください。硬い布でホコリのあるままでこすると、細かいキズがついてしまい逆効果です。通常、やわらかい布での乾拭きで十分です。
- 汚れのひどい時は、3～5%程度に薄めた中性洗剤を漬した布で汚れを落とし、その後、水で濡した布で洗剤をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。

素材についてのご注意

- 本製品は国産の杉材を使用しています。素材の特性について予めよくご理解いただき正しくお使いください。
- 軟らかさについて：杉は軟らかいため、打痕や傷がつきやすい素材です。
 - 塗装について：無塗装の場合、表面には汚れや手垢などが付きやすくなります。
 - 節について：杉は針葉樹ですので、広葉樹に比べて枝が多く、節が多く見られます。本製品では節による凹凸をパテ埋めをして平滑にしています。また節の数や大きさには製品ごとにばらつきがあります。
 - 色について：本製品は天然木を使用していますので製品ごとに木目、色が異なります。
 - 反りについて：杉は吸湿性が高いため、使用環境の湿度と温度の変化によって若干の反りが発生することがあります。
 - 板材の穴について・本製品の板材は、断面に穴の開いた特徴的な形になっています。穴に指を入れたり、物を押し込んだりしないでください。けがや破損の原因となります。
 - 経年劣化について
 - 変形 / 割れ
高温多湿の場所、直射日光の当たる場所、空調が直接当たる場所などに設置しますと反りや割れが発生しやすくなります。
 - 色の变化
少しずつ色合いに変化していきますが、光の当たる量によって変色の進行具合は異なります。

ご使用方法

- 廃棄について
- 廃棄の際は、居住地域自治体のルールに従い、処分してください。

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店、もしくは下記お客様室までご連絡ください。

コイヤ協議会 事務局 TEL 0985-60-3911
受付時間 ■ 平日 10:00 - 18:00 ■ 土・日・祝 10:00 - 18:00

重要なお知らせ(安全上のご注意)

ここに示した警告・注意事項はお使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

⚠ 警告 死亡や重傷などに結びつくおそれがあるもの

⊘

●乳幼児を寝かさないうでください。床への落下や窒息のおそれがあります。

●保護者の目の届かないところで、お子さまだけでは使用させないでください。

●座面以外に座らないでください。ケガの原因となるおそれがあります。

●商品の上にとったり、飛び跳ねたり、踏み台代わりに使用したりしないでください。バランスを崩し転倒したり、商品の破損によりケガの原因となるおそれがあります。

●座った状態で商品を傾けるなど不安定な状態では使用しないでください。転倒や商品の破損により思わぬケガをする原因となります。

●座面に浅く腰掛けしないでください。ケガの原因となるおそれがあります。

●ストーブなど引火するおそれのある物を近くに置かないでください。火災の原因となります。

●タバコの火などを商品に落とさないでください。火災の原因となります。

●不安定な状態や場所で使用しないでください。転倒によりケガをする原因となるおそれがあります。

●製品の脚などで電化製品の電源コードを踏まないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となるおそれがあります。

●2人以上では使用しないでください。転倒や破損によりケガをするおそれがあります。

●不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。

●屋外では使用しないでください。変形や著しい劣化が起こりケガをするおそれがあります。

●一度組み立てた商品の脚は取り外さないでください。再度、組み立てを行うと、強度が低下し、商品の破損により思わぬケガをする原因となります。

🙏 お願い(その他注意)

- 高温多湿や乾燥した場所で長期間設置はしないでください。製品の反りやゆがみ、割れや変色などが生じる原因となります。
- 直射日光の当たる部屋へ設置する場合は、カーテンなどを利用し、直射日光が当たらないようにしてください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因になります。
- 暖房器具を使用する場合は室内温度は適正に保つようにしてください。冬場など暖房器具による室内の極端な乾燥は、天然木材の割れや反りの原因となります。
- シンナーなどの有機溶剤や漂白剤などの薬剤でお手入れしないでください。変色や変形の原因となります。
- 化学雑巾を長時間接触させたままにしないでください。変色したり、表面がはがれたりするおそれがあります。
- 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品がゆがんだり、破損の原因となるおそれがあります。
- 廃棄の際は、居住地域自治体のルールに従い、処分してください。

ホルムアルデヒドの対策について

- ホルムアルデヒドとはホルムアルデヒドは、シックハウス症候群の原因物質の一つと言われています。常温で気化する無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建設資材・壁紙を貼る接着剤などに含まれています。少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。

- お部屋の換気をしてください。

⚠ 警告 家具を設置の際は、室内の換気を十分にしてください。化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに室内の換気を行うようにしてください。複数の家具を同時に設置した場合は、特に窓をできるだけ広く開け、十分な換気を行ってください。室内の湿度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放散される傾向がありますので、夏季に室内を長時間閉め切っている場合は、特に換気をするようにご注意ください。換気効率をあげるため複数の窓を開けたり、換気扇、扇風機、サーキュレーターの利用をおすすめします。

- 化学物質に敏感な体質のお客様へホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質は許容量に個人差があります。よって、室内濃度指針値(健康上望ましいとされるホルムアルデヒドの室内濃度値)以下の濃度であっても反応する体質の方もいらっしゃいます。現段階のコイヤの家具におきましても、ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を極力使用しておりますが、まったく発散されないわけではありませんので、ご注意ください。アレルギー症状が起きた際は、医師にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性や物的損害が生じるおそれがあるもの

⊘

●多湿な場所で長期間設置はしないでください。カビやダニなどが発生し、健康を害するおそれがあります。

●本来の用途以外では使用しないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。

●破損、変形した状態では使用しないでください。思わぬケガをする原因となります。

●修理および改造はしないでください。製品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。

●商品に座ったまま移動しないでください。商品の破損、床面へのキズの原因となります。

●持ち運ぶ際は、引きずったり落としたりしないでください。商品の破損、床面へのキズの原因となります。

●直射日光や照明、ストーブやエアコンなどの冷暖房器具の熱や風を商品に直接あてないでください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因となり、ケガをするおそれがあります。

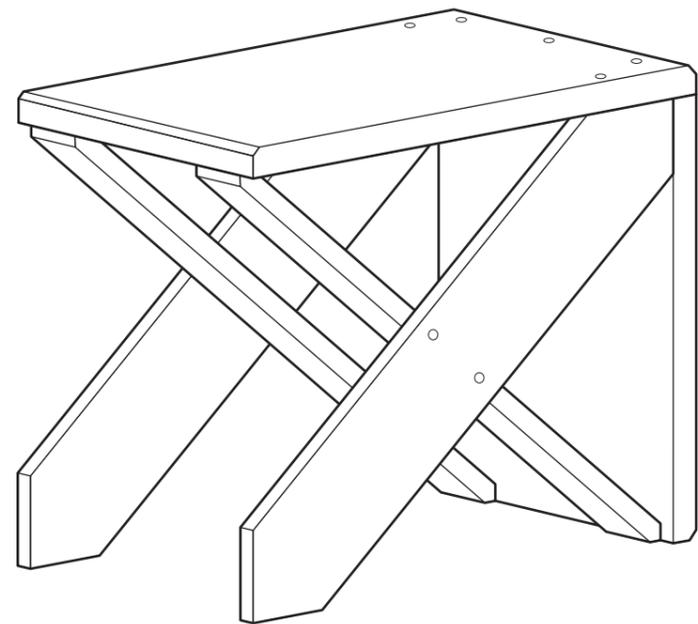
●フェルトを貼った状態で、凹凸や継ぎ目などの段差のある床面では使用しないでください。フェルトがはがれて床面を汚したり、キズつけたりする原因となります。

!

●使い始めるときは、室内の換気を十分にしてください。ホルムアルデヒド放散量の少ない木材を使用しておりますが、ホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などはアレルギー症状を起こすおそれがあります。

●使用時は、脚の底面にフェルトなどの保護材を貼るか、敷物を敷くなどしてご使用ください。そのまま使用すると、床面をキズつける原因となります。また、クッションフロアなどの場合は、木部の塗料とクッションフロアの反応により変色するおそれがあります。

●各部にゆるみやグラッキがないか定期的に点検し、異常が認められたら使用を中止してください。ゆるみやグラッキが生じたまま使用すると、ケガや破損、床面のキズの原因となります。

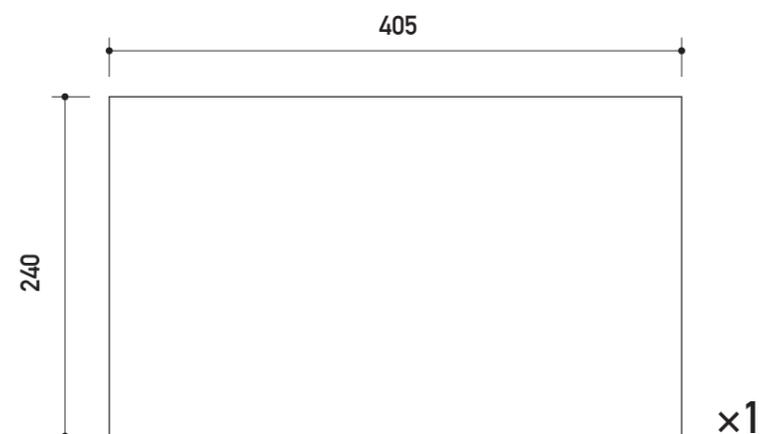


『杉でつくる家具』公式サイトで、作り方のコツやよくある質問を公開しています。
<http://www.sugi-diy.com/> ※QRコードからアクセスできます。

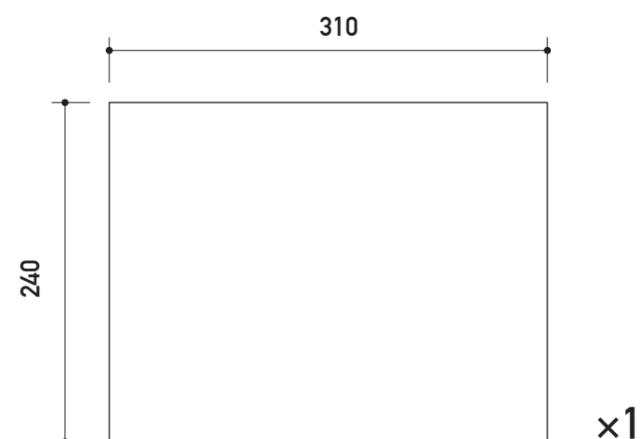
プレカットされていない材料を購入された方は、図面の寸法に従って墨付けし、ノコギリなどで材料をカットしてください。

杉板

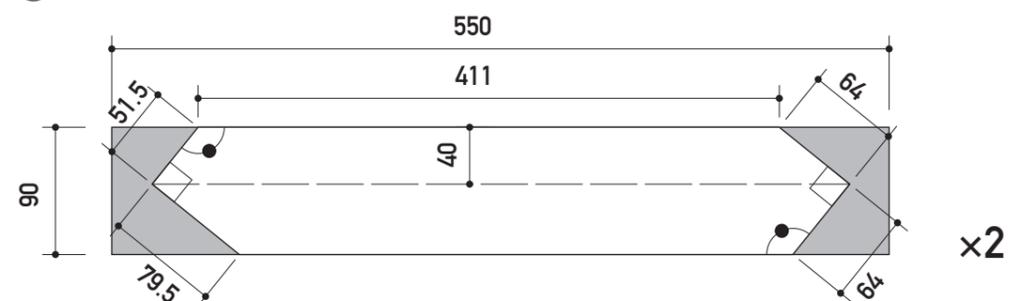
① 21×240×405mm



② 21×240×310mm

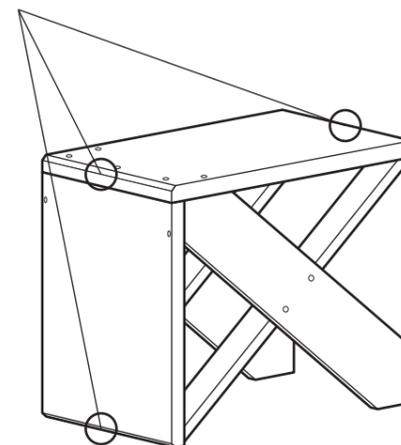


③ 15×90×550mm

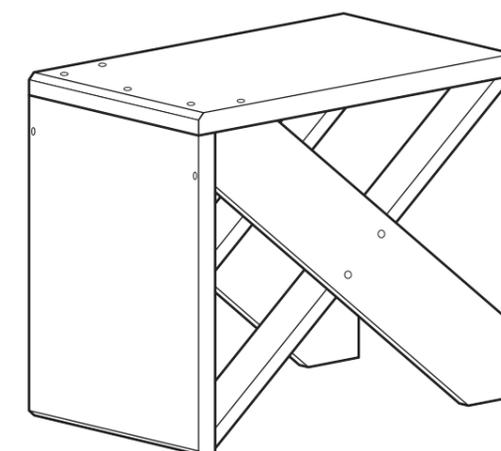


5 サンドペーパーで角を面取りする。
付属のサンドペーパーを角材などに巻きつけて角の部分を斜めに削る。最後に全体的にサンドペーパーをかけ、滑らかに仕上げる。

この3辺を削る



6 完成。
なるべく平らなところに置き、ガタつきを確認する。ガタつきがあれば、脚先をノコギリで切るか、サンドペーパーで削って調整する。



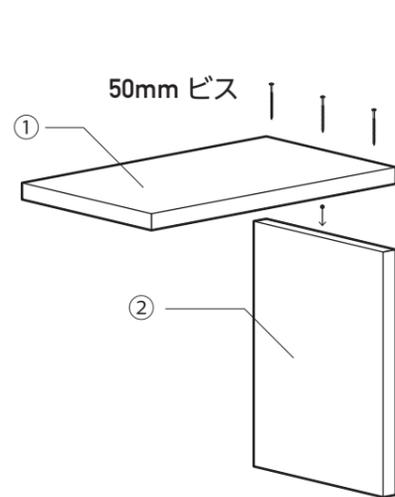
ワンポイントアドバイス

- 接合面にボンドを塗るとより頑丈になります。
- ビスは、部材に少しめり込むまで強く締めてください。ビスの頭が飛び出たままだとケガの恐れがあります。
- 電動ドライバーをお持ちの場合は、下穴ビットで皿切り（ビスの頭の部分を削ること）すると見栄えがよくなります。
- サンドペーパーで面取りする場合は、平らな板などに巻きつけて行くと、平滑に仕上がります。
- サンドペーパーの代わりにカンナで面取りすると、短時間できれいに仕上がります。

組み立て方法

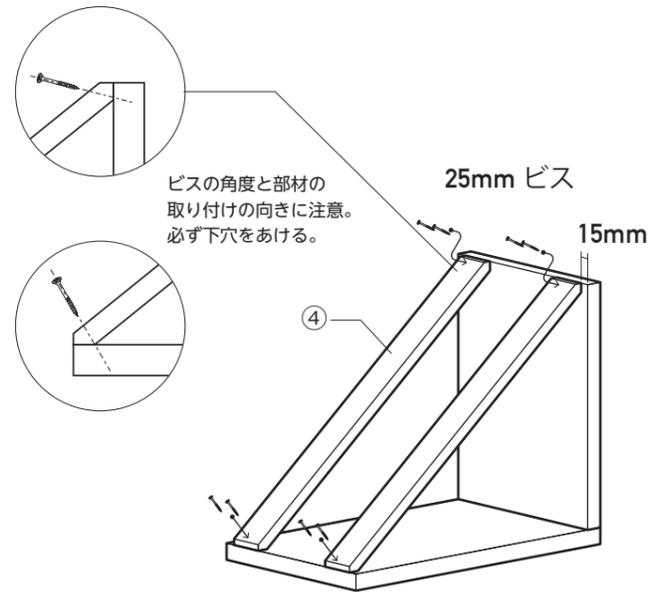
1 座板をL字型に組む。

キリで下穴をあけてからビスをねじ込む。部材②を横に寝かせて組み立てると作業しやすい。



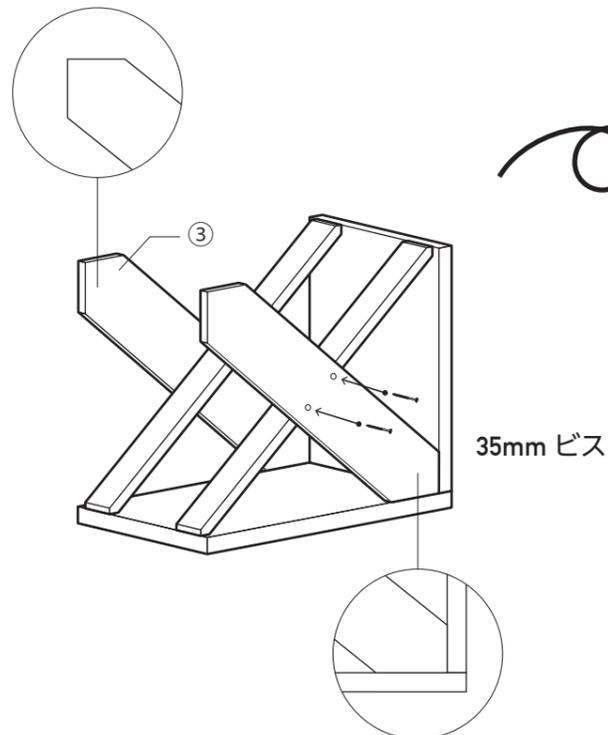
2 細い脚を取り付ける。

細い脚（部材④）は両端の形が異なるので、向きに注意。取り付け位置は、座板の端から15mm（部材③の板厚分）内側にする。ビスは角度に注意しながら留める。



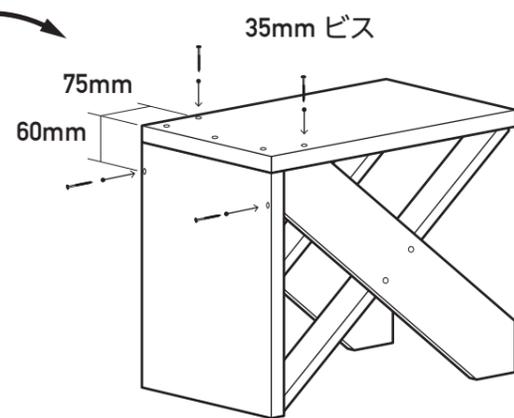
3 太い脚をX字型に組む。

太い脚（部材③）を、本体にあてがいながら位置を決めて、ビスで留める。脚は両端の形が異なるので、部材の向きを間違えないように注意。

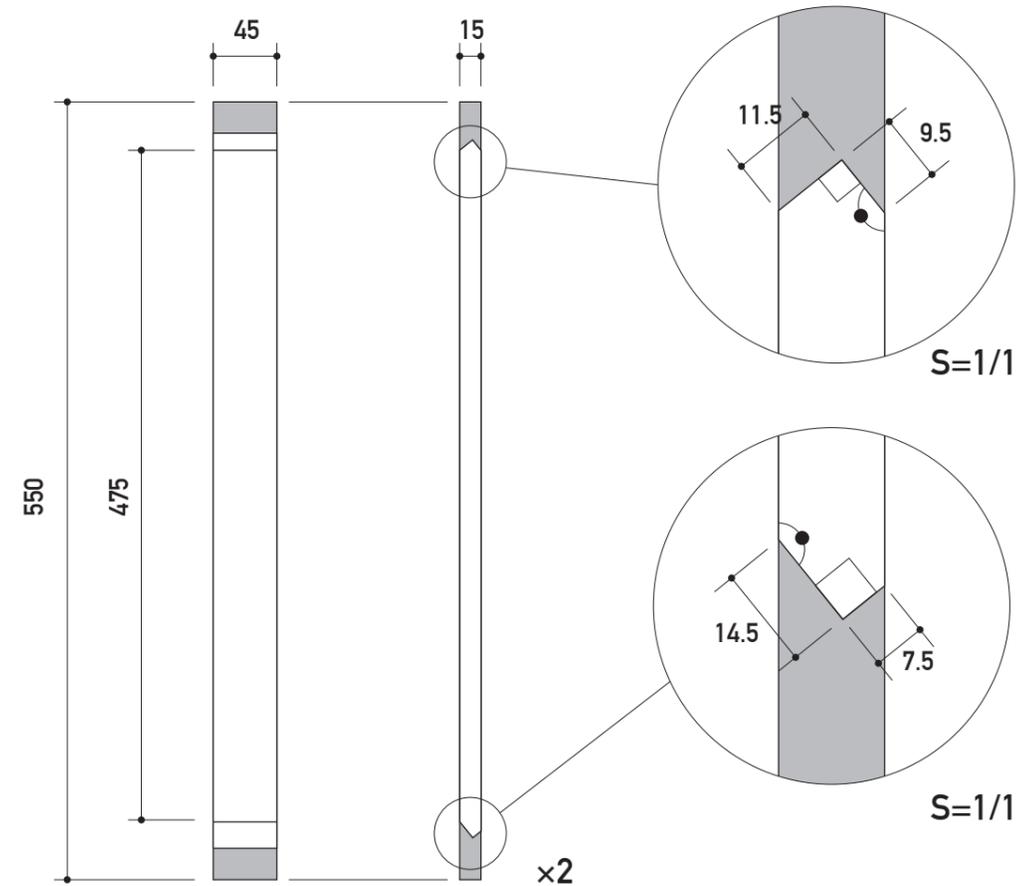


4 太い脚の付け根をビスで留める。

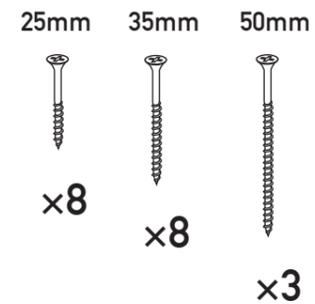
脚を完全に固定するために、座面側からさらにビスで留める。座板が厚いので、キリで下穴をあけておくとも作業がスムーズにできる。



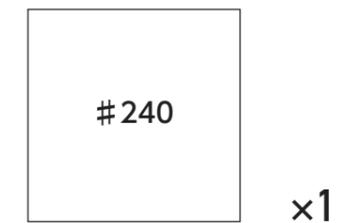
④ 15×45×550mm



ビス



サンドペーパー



必要な工具



両刃ノコギリ
縦引き横引き兼用刃でも代用可。



クランプ (万力)
材料を作業台に固定するときに使用。



スコヤ
材料に垂線を引くのに使用する。



自由スコヤ
スコヤの長手が任意の角度で固定できる。
図面から角度を写して使用する。



コンベックス
ビスの位置や加工線の寸法を測る。



キリ
ビスをねじ込む前に下穴をあける。



プラスドライバー
(サイズ: +2)

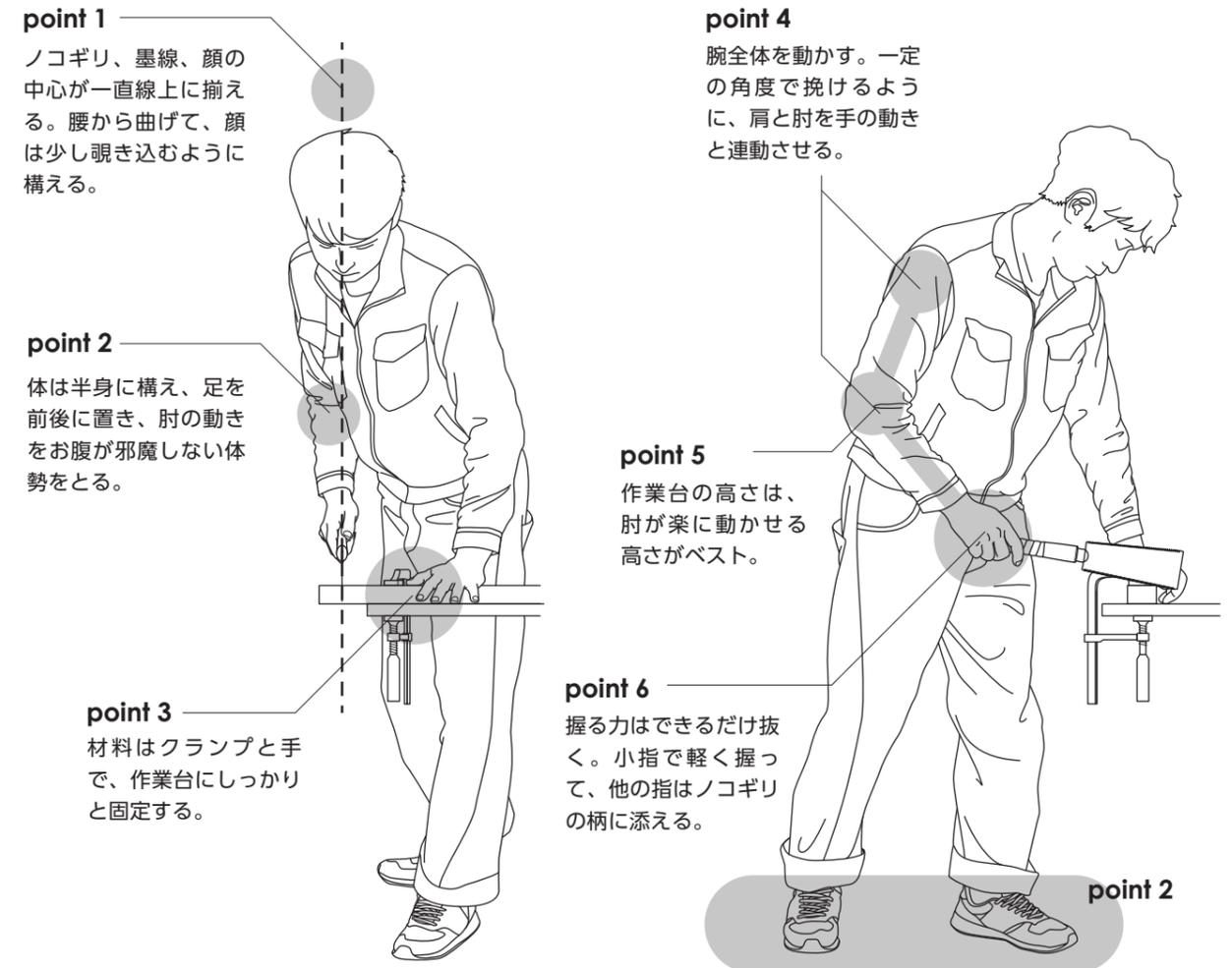
あると便利な工具

- ・ドライバドリル (電動ドライバー)
- ・下穴用ビット、プラスビット
- ・カンナ (面取り加工に使用)

ノコギリの使い方

《ノコギリの基本姿勢》

ノコギリで切るときに大切なのは「ノコギリをまっすぐ前後に動かすこと」です。これを正しく行うためには、①ノコギリを力を入れて握らないこと (脱力)、②材料をしっかり固定すること、③腕全体を使って挽くこと、の3点が重要です。下の解説を参考に、正しいノコギリの使い方をマスターしましょう。



《挽くときのコツ》



挽き始めは、左手の親指を添えて、ノコギリの厚さを考慮して、墨線際にノコギリを合わせる。ノコギリの角度を浅く構えて、軽く数回押しして挽き、ノコ道を作る。



ノコギリは、手前に引くときに切れる。挽くときは、ノコギリの角度は30度くらいで構え、刃渡り全体を使って挽く。挽いている途中で負荷が大きくなったときは、角度を小さくしながら挽き進める。

《切り欠くときのコツ》



材料の手前から挽き始め、ノコギリを徐々に起こしていく。墨線ぎわで垂直になるように挽き進め、材料の表裏面をのぞきながら、挽きすぎて墨線を越えないように注意する。